

9月15日(土)

14:00～16:00

阪神石屋川駅

小説『火垂るの墓』の舞台を歩く

■講師：辻川敦さん（尼崎市立地域研究史料館）

■集合場所：阪神石屋川駅 ■集合時間：14:00

■解散場所：JR六甲道駅 ■申込期限：9月14日（金）17:00

要事前申込

戦争孤児の兄妹（清太と節子）の物語である『火垂るの墓』は、野坂昭如が1967年に発表した短編小説です。兄の清太は1945年9月、14歳のときに三ノ宮駅構内で亡くなりますが、原作者の野坂も当時14歳であり、空襲に遭い、その後妹を亡くすなど、共通する点が多くあります。『火垂るの墓』は、野坂のそういった実体験を反映してはいるものの、2人の境遇には異なる点も多く、フィクションの要素も強い作品です。

1988年には、スタジオジブリの高畑勲監督によりアニメ映画化され、多くの人を知る作品になっていきます。野坂も高畑も、単に反戦をテーマとしたお涙頂戴のかわいそうな犠牲者の物語ではないと言っています。しかし、制作側の意図を超えて、戦争の悲惨さを強く訴える作品、反戦をテーマにした作品として、多くの人に受け止められています。

第3回セミナーは、『火垂るの墓』の舞台、清太と妹の節子が住んでいた（実際に野坂が住んでいた）御影町付近（現神戸市東灘区）を歩く予定です。講師としてご案内いただくのは、「火垂るの墓を歩く会」を毎夏開いている、尼崎市立地域研究史料館の辻川敦さんです。

■参加資料代：1000円 ※前日までに申し込みの上、当日現金でお支払いください。

▶第4回 受刑者の人権 神戸刑務所・ひょうご矯正展見学

フィールドワーク

日時：10月13日（土）11:00～15:00 集合場所：JR西明石駅（予定）

講師：石元清英さん（(社)ひょうご部落解放・人権研究所所長／関西大学教授）

▶第5回 人権とは何か？ - 『世界人権宣言』から70年を迎えて

日時：2019年1月26日（土）14:00～16:00 場所：のじぎく会館204号室

講師：阿久澤麻理子さん（大阪市立大学教授）

▶第6回 血筋？土地？部落民とは誰なのか

シンポジウム

日時：2019年3月9日（土）14:00～16:00 場所：のじぎく会館ふれあいルーム

講師：住田一郎さん（部落解放同盟住吉支部員） 石元清英さん ほか

■お申込み・お問合せ

（社）ひょうご部落解放・人権研究所 TEL:078-252-8280 メール：blrhyg@extra.ocn.ne.jp